

もっといきいき健康に！地域がつながる医療と介護を目指して

帰巖会

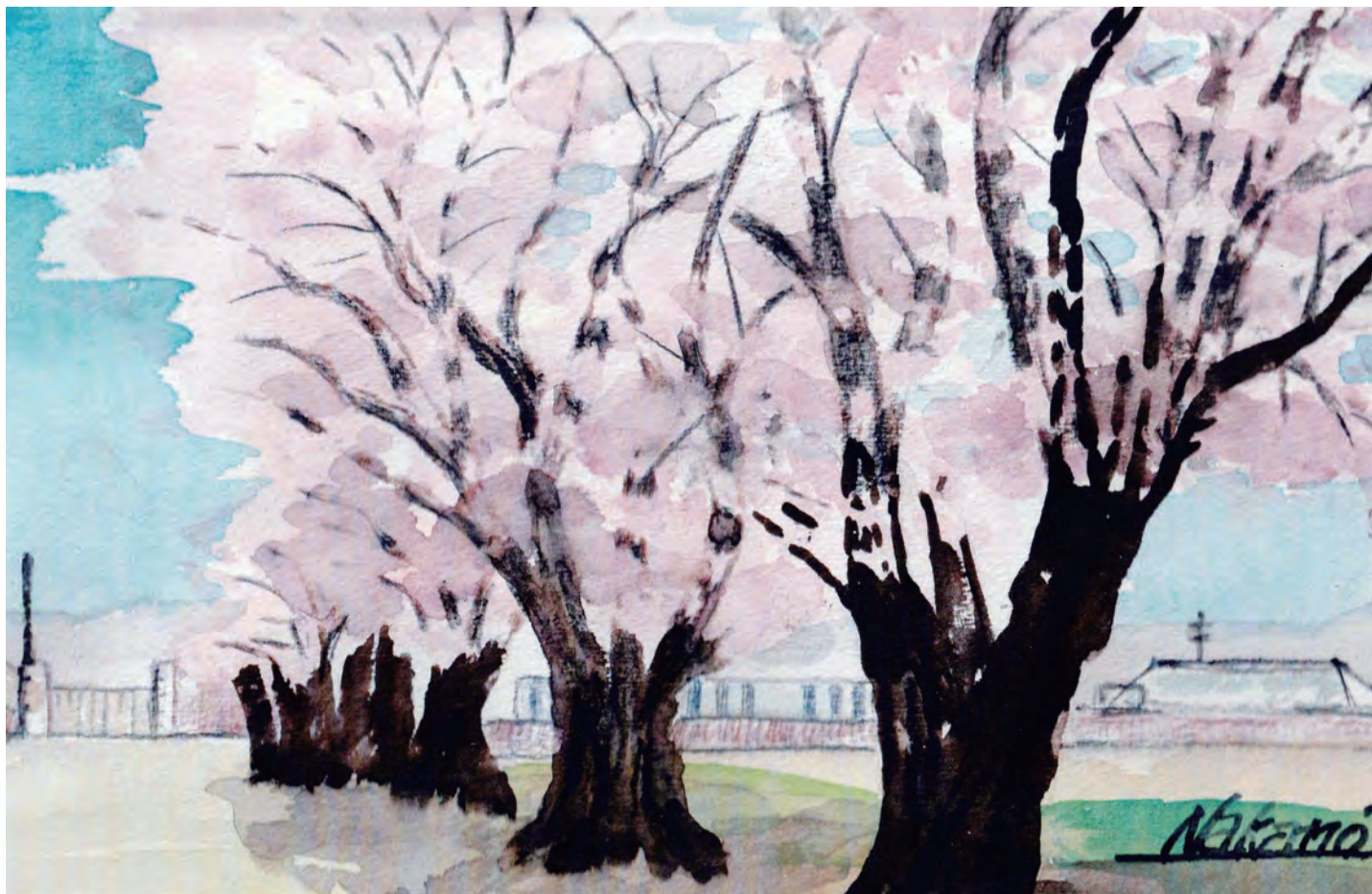
ご自由に
お持ち帰りください

かわら版

2023.4.1

April

vol. 82



大分少年院 桜

「満開の桜大樹の並木道 くぐる生徒ら何見つめけむ」
直耕団吉野診療所 所長 中野俊彦

コンテンツ

巻頭言

2023帰巖会新体制 …… 2~3

着任挨拶 …… 2~3

病気を知ろう 一心不全について …… 4

リレーインタビュー まちの健康が私たちの幸せです …… 5

櫻~たすき~ cafe 月の舎 TUKI NO YADORI …… 5

郷土の歴史 …… 6

インフォメーション/時事寸感 …… 6

巻／頭／言
ごあいさつ

社会医療法人帰巖会理事長

松山 幸弘



新しい年度の始まりに合わせて帰巖会では新たな電子カルテシステムを導入することとなりました。旧システムではカバーできていなかった各部署との情報の一元化や双方向の情報更新が円滑に行えるようになることで業務のスリム化、時間短縮につながり利用いただく患者さんには安全性の向上、待ち時間の短縮を提供できるように努めます。また働く私たちにとつても働きやすい環境改善につながります。しかしながら、今回は基本システムの変更であるため多少の混乱が生じると思われまます。安定して業務が行えるようになるまでには皆様にご迷惑をお掛けいたします。この場を借りて深くお詫び申し上げます。いずれ各種の更新作業が進むにつれて利便性の向上を感じていただければと思います。

年度末の慌ただしい中で開催されたワールドベースボールクラシックは明るい話題が少なかった日本を少しだけ元気に勇気づけてくれました。普段野球には全くと言って興味を示さない私ですら準決勝のメキシコ戦と決勝のアメリカ戦は録画してまで



帰巖会みえ病院は2013年以来10年ぶりに、白杵病院は2017年の開院以来6年ぶりに、病院長を交代します。

資源高騰により物価が押し上げられた2022年は時代の大きなターニングポイントにあり、医療や介護事業の経営も従来のような右肩上がりの成長路線でなくなりまりました。今まで以上に収入と支出管理を緻密に行い小さくとも継続的成長を果たしていく堅実さが求められる時代を迎えています。

帰巖会の船出

着任挨拶



帰巖会みえ病院 院長
小柳 雅孔

2023年4月から帰巖会みえ病院の院長となります小柳雅孔です。福岡出身で循環器内科医師として働いてきました。大学で研究生だったところ、週に1回長崎県の壱岐に当直に行っていたことがあります。島の中で救急患者に対応できるのが当直に伺っていた病院だけで、どのような病気の方でも診て判断しなければいけない状況でしたので緊張感を感じながら診療を行っていたことを思い出します。都会の治療の選



白杵病院 院長
松山 幸弘

この度、10年間務めた帰巖会みえ病院院長を退任し、新たに白杵病院院長として赴任することとなりました。

白杵病院では以前、肝臓疾患に関する外来診療をさせていただいていましたが、今回新たに病院長として、病院全体の運営はもちろん救急から慢性疾患に至る内科全般いわゆる総合診療を担当させていただきます。外来や入院医療のみならず訪問診療も担当させていただき地域に向いてまいります。今後、白杵市の現状や白杵病院に求めら

扱肢がいろいろある場所と違い、みえ病院のような地方の救急病院は専門外であつてもまず診て、初期対応をきちんとすることが大事になってきます。私は2017年4月からみえ病院の常勤医師として働き始めましたが、その数年前から外来診療と当直をやっていました。今ほど人も設備も整っていませんでしたが病院の規模が少しずつ大きくなり、5年前には大分市に搬送するしか選択肢がなかった病气/患者も対応できることが増えてきました。やはり地域のニーズがあつたからだと思いますが、まだ不十分なことも多く、今のままで良いとは思っていません。この先、より良い医療と介護を提供できるように他の医療機関とも連携しながら運営していくつもりです。でよろしくお願ひいたします。

れる役割を肌で感じていくと共に、地域の医療機関様と連携を深め、地域の方々や患者様方から少しでも頼りにされる医療機関となれるよう日々努力してまいります。

医療はその地域のインフラストラクチャー(社会の下支え)であり、高い質と公益性が求められます。経営を安定させ、地域に求められるものと用意すべき提供体制をバランスよく整備していかなければなりません。もちろん、これで十分と自己満足することなく、その時々でできるベストを尽くし、より良いものを目指し日々努力を積み重ねてまいります。

2017年に白杵病院が開院し7年目の年を迎えています。これまでの経験を礎にさらにもう一歩地域に近づいた医療を展開していくことを今後の目標といたします。

観てしまいました。それぞれのシーンで繰り広げられるドラマはそこにシナリオでもあるかのように劇的なインパクトをもって観衆の我々に伝わりました。おそらくそこに至るまでは並大抵では出来ないような努力の積み重ねがあったに違いない。「幸運は用意された心へのみ宿る: le hasard ne favorise que les esprits préparés」とはフランスの細菌学者パスツールの言葉ですが、私たちもかくありたいものです。もちろん、WBCのように国を代表して勝負しているわけではありませんが、私たちが相対するのは尊い生命です。人生をかけるには十分すぎる相手です。何も毎回ホームランを打つ必要はありません。誠実に自分の仕事を全うする。振り返って本当にそれで良かったのか？自問自答しさらに良くなるにはと常に向上を諦めないことを繰り返す。おそらくその先に予期せぬ幸運が訪れてくれるでしょう。さて、特別に私が努力をしたわけではありませんが、忙しくなくはない日常の中でわずかな時間を見つけては日々体力の維持向上を目的として行っているランニングの客観的な評価である「三重町さくらロードレース大会」での公式記録はコロナ前の記録より少しだけ早く走れるという50歳代にしてタイムを削ることが出来たという小さな奇跡として結果しました。「為せば成る為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり」(上杉鷹山)。日々を大切に生きて行きたいものです。

2023年 新体制

こうした中帰巖会は、新病院長をはじめ新たな職員体制で新時代に臨む選択をしました。

置かれた状況は決して良いことばかりではありませんが、考える力を失うことなく全員医療・全員介護の精神で歩みを進めていきます。

関係の皆さまの益々のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

帰巖会常務理事 船田 茂



帰巖会みえ病院
看護部長
佐藤 真由美

はじめてまして。
この度、ご縁がありまして帰巖会に仲間入りをさせて頂き、みえ病院の看護部長になりました佐藤真由美です。31年間大分県立病院に勤務し、定年退職後、実家のある豊後大野市大野町に帰って来ました。
私は、看護は「やさしさ」が基本という考えのもと、目配り・気配り・心配りをモットーに看護師人生を歩んでまいりました。「対話」を大切にしながら「今できること」「今やるべきこと」は何かを考え前に進みたいと思っています。
また、地域の皆さんが、みえ病院を受診して、入院して、訪問サービスを利用して「良かった」と思って頂けるよう、すべての職員と一致団結しながら日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



白杵病院
リハビリテーション部長
三浦 剛

私が帰巖会に入職したのは2004年で、今年で19年目を迎えます。振り返ってみると、みえ病院の新築移転や白杵病院開設など目まぐるしく法人が成長するなか、その一員として様々な良い経験をさせて頂きました。
今後は白杵病院のリハビリテーション部の責任者として、職員一人一人が日々のやりがい(目標)を持てるような環境作りを行うことともに、白杵病院を利用される方々や法人に必要とされる人材育成に力を入れていきたいと考えています。
白杵病院の業務についてはまだまだ不慣れなことはありますが、日々この地域のために出来ることを模索し少しでも貢献できるように努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



白杵病院事務長
脇坂 健史

4月より白杵病院の事務長を拝命致しました脇坂と申します。佐伯市出身です。
これまでは大分大学医学部附属病院の医療ソーシャルワーカーとして、超急性期から地域医療へバトンを繋ぐ役割を担っておりました。これからは地域医療・介護の推進に携われることを嬉しく思います。
白杵病院は、急性期から慢性期までの医療、透析、リハビリテーション、在宅医療、介護事業と、地域を支援する多くの特色を持っています。これらを地域住民の方々に安心してご利用頂くこと、そして職員全員が働き甲斐を持って自分たちの仕事に取り組めること、この2つの環境づくりに全力を注ぎ、職責を果たしていく所存です。
皆様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

病気を知らう

心不全について

帰巖会みえ病院救急科部長 奥山 英策

**「心不全」ってホントは
どういふものなんだろう？**

時々耳にする言葉ではありませんが、「心臓の調子が悪いこと？」くらいしか思いつかないのではないのでしょうか。日本循環器学会/日本心不全学会合同ガイドライン「急性・慢性心不全診療ガイドライン(2017年改定版)」を見ると、心不全とは、心臓のポンプ機能が破綻した結果、息苦しくなったり、倦怠感を感じたり、体が浮腫んだりなどの気になる症状が出て、そのため日常生活に支障をきたす臨床症候群」とされています。

心不全という言葉を考える前に、そもそも「症候群」とはなんだろう？

心臓に起こる病気にも、狭心症、心筋梗塞、不整脈など、色々ありますが(次回で、少しお話させていただきます)、いずれの場合でも、病気がある程度進行すると、決まって息が切れる・咳がでる・皆と一緒に歩くと自分だけ遅れる・体が怠い・食欲が無い・食べられないのに体重が増える・手足や顔が浮腫む・息をするときヒューヒュー音がする・寝ているより座っている方が楽、などの複数の症状が揃って出てきます。この様に、お決まりの症状があたかも「群れ」を成して出てきた場合、その時の体の状態を指して、「症候群」と呼びます。通常、症候群の前には、その症候群を発見した人の名前や、特徴などがくっついて、パーキンソン症候群、

エコノミークラス症候群、ピーターパン症候群などと表現されています。

「心不全」とは、実は病名ではありません

前述の症候群を訴えて患者さんが来院された場合、循環器内科医であれば、一目診ただけで、正確な病名はまだわからなくても、この患者さんは心不全だなと感じます。つまり、心不全とは、病名ではなく、調子の悪い心臓を抱えた患者さんが発する病的な「状態」を表す言葉です(私の勝手な意見としては、心不全症候群としてくれたほうが、もっとスッキリするのですが...)。

私が患者さんに心不全について説明する場合、例えば「心臓の病気はたくさんありますが、○○さんの場合は、重症の冠動脈硬化症という病気です。この病気が原因で、心臓の調子がだいたい悪くなっており、現在の症状が出ています。冠動脈硬化症以外の病気の患者さんでも、進行すると、○○さんと同じ様な症状が出ます。○○さんと同じくらいに心臓の調子が悪い患者さん達の体の状態を心不全状態と呼びます。」とお話しています。

**心不全に至る心臓の病気と
心不全の程度**

よく耳にする心臓の病気

心臓の病気には次のようなものがあります。

冠動脈硬化症……心臓に栄養を送る冠動脈が狭くなったり詰まったりすることで、心臓に十分な栄養が供給できない。狭心症や心筋梗塞など。

不整脈……通常、心臓は一分間に60〜70回動いていますが、この回数が20回や200回以上など、極端に減ったり増えたりする。心房細動、心室頻拍、心室細動もこの仲間。

弁膜症……心臓の中には、弁と呼ばれる扉が四つ備わっていますが、この弁がスムーズに開閉しない。現在の高齢者に多いのが大動脈弁狭窄症。

心筋症……心臓の筋肉自体の異常が原因で、心臓の壁(筋肉)がボディービルダーの筋肉の様に異常に分厚くなったり、逆に紙風船の様に薄くなってしまう。拡張型心筋症、肥大型心筋症など。
その他……心臓以外の原因で、心臓に負担がかかる(例、異常な高血圧など)

これらいずれの病気であっても、ある程度進行してしまうと、特有の症候群が現れて、心不全に至ることは前述した通りです。

心不全の程度

以下に示すように、心不全の程度は、「ステージD」に近づくにつれて重症度が増えますが、最大の特徴は、ステージはAからDに向かって一方向きに進むだけで、決して逆戻りができないことです。しかし、決して悲観的になる必要はありません。なぜなら、次のステージに進まずに、今のステージで止めてしまえば良いからです。

「ステージA」

検査をしても心臓の異常は見つから

ず、本人も自覚症状はありませんが、このままの不摂生な生活を続けると、いずれ心不全に陥る段階。タバコ・塩分・甘いもの・油を控え、しっかりと運動するだけでいいんですけどねえ……(このステージの人は、健診でひっかかって病院に歩いてやって来るか、あるいは、健診すら受けていなく、自分は大丈夫と思っているので、病院にはやって来ない、のどちらかです)

「ステージB」

検査をすると、すでに心臓の異常が出ていますが、本人の自覚症状が無い段階。あらゆる治療を行なって、次のステージCに進ませないことが大事。(このステージの人は、「えっ?私の心臓悪いの?」と、びっくりして心臓の精密検査を受けに病院に歩いてやって来ます)

「ステージC」

検査で既に心臓の異常が出ている上、本人も心不全に特有の自覚症状がある段階。できる限りの治療を行なって、発作の回数を減らすことが大事。(このステージの人は、多くの場合、救急車に乗って病院にやって来ます)

「ステージD」

緩和ケアなどが必要な段階(このステージの人は、ベッドの上で過ごされる時間が長いです)

以上、「心不全」という「体の状態」について説明してみました。思い当たる症状があれば、ひとりで悩まずに、思い切って病院を受診してみましよう。きっと、解決の糸口がみつかると思いますよ。

リレーインタビュー

48回目



まちの健康が私たちの幸せです

確かな調剤 信頼できるお薬相談

そうりんは、地域に根ざした身近な調剤薬局として一人ひとりの豊かな健康づくりをサポートします。

株式会社そうりん みつば薬局は2007年12月に三重町市場に開設以来、2011年の帰巖会みえ病院の新築移転にもない当地に移転開設致しました。現在、薬剤師5名、調剤補助・受付事務6名でみえ病院の処方箋を主として保険調剤業務を行っています。

かかりつけ薬剤師

かかりつけ薬剤師というサービスをご利用いただいている患者さまにはいつも同じ薬剤師が担当しています。他の病院や薬局で受け取ったお薬と今回お渡しするお薬が重複していないか、ドラッグストアで購入された市販薬、健康食品などとお薬同士や食品との相互作用の心配はないかなどをまとめて把握し、服用に際しての注意点などをお伝えします。また余っているお薬が多数ある場合、薬局にお持ちいただければ次の処方調整の提案、ご自宅でのお薬の確認・整理を行うこともあります。患者さまの服薬状況をよく理解した薬剤師として、お薬や健康維持に関するご相談などを夜間・休日でも薬局が閉まっている時間帯にもお応えするのがかかりつけ薬剤師です。

訪問服薬指導

2022年より医師や歯科医師の指示のもと、薬剤師が直接患者さまのご自宅や施設に出向く訪問服薬指導を行っています。受け付けた処方箋のお薬を配達するだけで

はなく、どいつのお薬の飲み方をしているかを確認、指導したり、残薬を確認したり、お薬の整理・介護者への指導等を行うことで在宅での服薬治療をサポートしています。

2023年2月よりマイナ受付を開始

マイナンバーカードを保険証として利用することで調剤時にかかる本人確認や保険情報の確認などの受付手続きが簡潔になりました。また、事前に患者さまに同意いただくことで健康診断の結果やお薬情報が薬剤師にスムーズに伝わり、複数の医療機関でもらっている

薬との飲み合わせ等の確認が円滑になりました。また実際にご利用いただく際の情報は少ないのですが、今後は紙の処方箋が電子化されることもありマイナ受付がより便利になります。受付方法やご不明な点は事務員が丁寧にご説明します。是非マイナ受付をご利用ください。

管理薬剤師

内田 康博

大分県下をネットワークする調剤薬局 株式会社 そうりん みつば薬局

所在地：〒879-7111 豊後大野市三重町赤嶺1250-8
電話番号：0974-22-0310
FAX番号：0974-22-0319
開局時間：月曜日～土曜日 9:00～18:00
休日：日曜日・祝日
主な応需先診療科目：内科、外科、整形外科、泌尿器科、歯科
<https://www.e-sorin.jp>
管理薬剤師 内田 康博



カフェ「月の舎」オーナーでありvungoonoプロジェクト代表の富高あずささんをご紹介します。

起業のきっかけ

富高さんは2017年8月、豊後大野市三重町にカフェをオープンします。きっかけは50歳を前に「このままでいいの?」と、突き上げる気持ち。料理が好きで家族に作ってきた食事やお弁当の数々。豊後大野市にゆかりはありませんでしたが、最後は直感を信じこの地でのカフェオープンを決めました。「温泉や特別な観光はないけれど、おいしい米や野菜がある、温かい人がいる」と富高さん。通過点の町から到達点になる町へ変えていきたいとイメージが膨らみます。

今現在

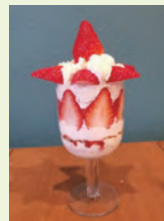
オープン2年でコロナ渦のピンチ。地元のさりげない気遣いに勇気もらい踏ん張りました。店名「月の舎」は、見上げた「月」に癒しを感じ、このひと時を、家でも宿でもない「舎」で、ゆっくり過ごしてほしいと決めました。その思いは、若い方からファミリー層、



そして年配の方までを引きつけます。木目を基調としたおしゃれな店内に軽やかな音楽と多彩なメニューが彩ります。日々、家族にエールを込めて作ってきたお料理の数々は「月の舎」で花開き進化しています。

これから

地元で根つき愛されるお店にしたいと、食材や人との出会いに誠実に向き合う毎日です。お店を訪れた方々に、交流や笑顔、休息のひと時を提供しています。一度の人生、可能性を信じ起業したあの日から7回目の夏を迎えます。輝いている富高あずささんのこれからのエールを送らせて頂きます。(取材 帰巖会 橋本茂子)



くたすきく 薬

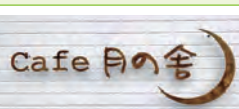
豊後大野編

File 6

cafe 月の舎
TUKINOYADORI

人から人へ響で繋がっていく

オーナー 富高あずささん



大分県豊後大野市三重町小坂4165-12
TEL : 0974-22-7077
URL <https://www.instagram.com/cafe.tukinoyadori/?hl=ja>
open : 11:00 close : 平日 16:00 / 土日祝 17:00
店休日 : 水曜日

大野町の歴史 (浅草八幡神社)

初稿では、大野町の由来・沿革についてご説明しました。今回は、神社・仏閣の内、浅草八幡神社についてご説明します。由緒は、千二百年以上前に、大野三社(浅草・上津・深山)八幡として創祀されたが天正十四年(一五八五)島津軍が乱入し、この地方を侵略した際に、薩軍のために神社及び神官の宅までことごとく兵火にかかった。後、享保十七年(一七三二)十二月再び火災に会い、詳細は不明であるが、文化の頃元岡藩家老中務広計氏(古田織部の子孫)諸書について考究し、「浅草八幡宮事実」と称する書物を出した。明治六年、大分県庁において古書調査のため、本社の記録の提出を求められたので、当時の神官が前記の書物を差し出した。同八年返却の請願以て下付せられず」とあり、その事実書は帰らなかつた。明治十年、西南戦争が起つて中津隊が大分県庁に攻め寄せた。当時の県令香川真一が諸書を小舟で移転する際に誤つて海中に落とし、その事実書もその中であつたので、遂に再び見る事ができない。故に当社の旧記を詳細に知るすべはないが、事実書に大友氏及び鑑ヶ岳城主戸次氏は深く篤く信奉せられて、神田、神宝などを寄付したと記されてあつた。続いて岡藩主中川氏は特に崇敬が厚く、三十三年の式祭はいうに及ばず、例祭にも幣帛を献納した。享保十七年神殿が焼失してより、

十九年間御神体を仮殿に安置してあつたが、宝暦十二年(一七六二)藩主中川久持が、特旨をもって家臣山岡茂治右衛門を普請係として工事を監督せしめ、同十三年に神殿が落成、翌明和元年正月二十六日に遷宮式をした。神殿の造営及び遷宮等は岡藩より支弁せられ、藩主が代々参拝した。毎年三月の春祭は五昼夜祈念をし、満月には藩の元締役が代参した。これは他社に例のないことである。浅草大神の霊験のあらたかなことは、世人のよく知るところであるが、中でも享保十年六月中川久忠公江戸へ参勤の途次、伊勢より桑名渡海の際、俄かに暴風雨が起り、船がまさに覆ろうとした時、黒雲の中より忽然と御神体が現れたまい、「子は其処許(ここ)もこの領内浅草八幡なり。子己に救護する。汝また憂うることなかれ」と大神の御声が聞こえ、忽ち風雨は止み遂に恙なく渡海できた。そこで同年八月十五日、家老中川藤衛門を本社に代参させた。当時奉納せられた三句の扁額は今なお残っています。



おがたチューリップフェスタ2023

インフォメーション
Information

豊後大野市 緒方町 4/3(月)～4/16(日) 会場 原尻の滝周辺

春に開催されるチューリップフェスタも今年で31回目。700人に及ぶ市内外の有志やボランティアの方が植え付けたチューリップは130種類30万本ほど。様々な色合いのチューリップが町を華やかに彩ります。期間中はグルメコーナーとして屋台も出店します。地元の美味しい料理を食し自然を愛でる。うらかな春の日の思い出づくりに豊後大野市へ足を運んでみませんか？

詳しい情報は豊後大野市チューリップフェスタ実行委員会のフェイスブック、インスタグラム、道の駅原尻の滝ホームページで確認をお願いします。

<http://www.ogatakanko.com>



お問い合わせ先

大分県豊後大野市緒方支所
TEL 0974-42-2111



時事寸感

5月並みの暖かさから一転、冷たい雨の降る中、近くの乙津川沿いの桜並木が、辺りの様子を窺つようになつて開花していった。地味とはいへ春到来である。ウクライナでの戦争は続いているが、マスコミはWBCで「世界制覇」した待ジャパンの話題一色になった。いつの時代もこんなものかと思う中、同世代の知人から「チャットGPTがすごい」と言ってきた。対話型AIのことだというのが、見本で送ってきた、高市早苗大臣の「総務省官僚の文書控造」問題も、見事に要約されていて正直驚嘆した。一寸調べてみた。将棋の「最善手」とか医療関連画像の「読影」のレベルでない。もう「手塚治虫氏の「火の鳥・未来編」の電子頭脳に近い。マイクロソフトのエクセルにこのソフトを入れて「業務を分析して」と入力すると、数秒で売上高・原価等の要約文が表示されるという。ワードでは提案書の下書きも即座に出来るらしい。霞が関役人の大臣答弁のための資料作成残業は解消しようとしたし、官僚の存在自体も(議員も?)危ういようにさえ思える。さらにオープンAIのGPT4では米司法試験上位10%に入るという。こうなると弁護士の大半も不要になりそう。映画ターミネーターの世界を阻止するために、既にその「暴走をどう止めるか」が議論になっているというからもう絶句するしかない。

もう四半世紀も前の話になるが、経営危機に陥った際、銀行からは毎月のように、収益・収支・振出手形残高等々100を超える質問書が送られてきて、回答書作りに忙殺された。銀行は、これらを点数化して融資先の経営状態を数値化して、貸出債権の精緻な格付けをしていると言つた。ある時「何が一番ポイントになるのか」担当者にそれとなく尋ねたところ「半分以上は経営責任者の資質とやる気ですかね」と白状した。AIの暴走をどう止めるのも、より高度なソフト開発での対応が有効だろう。3月24日の日経新聞のコラムは書いていた。それでよいし、やっぱりそれしかないだろうと心底思つた。

(帰巖会副理事長 榎本 祥文)